

◆ 議長記者会見概要

日時：令和8年6月18日（木）13：20～13：35

場所：県議会棟理事者控室

出席者：田中惟允議長、藤野良次副議長、山本進章広報委員会座長



藤野良次副議長

田中惟允議長

山本進章広報委員会座長

<案件>

1年間の振り返り

（田中議長）

お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。

私は令和7年6月定例会において議長に選出いただき、これまでさまざまな仕事に携わらせていただきました。

あっという間ではございましたが、今任期における私なりの思いをお伝えしたいと思います。

議長就任以来、藤野副議長とともに県政は県民のためにあるとの考えに立ち、課題解決に向けた活発な議論ができるよう、開かれた議会運営に誠心誠意つとめてまいりました。

これまで行政の議決機関である我々県議会は、その執行機関の長である山下知事をはじめとする知事部局とともに、奈良県の発展と、県民の皆様のよりよい暮らしの実現を目指し、緊張感のある関係を保ちながら、是々非々に活発な議論を交わしてきました。

この1年を振り返りますと、先日、本県の「飛鳥・藤原の宮都」の世界遺産登録への勧告が国連教育科学文化機関(ユネスコ)の諮問機関である、国際記念物遺跡会議(イコモス)からなされました。今後、この勧告に基づき、来月に韓国の釜山で開かれるユネスコ

世界遺産委員会で登録が審査され、正式に決定される見通しです。

これもひとえに、世界遺産登録に向けた機運の醸成等に尽力いただいた関係の方々をはじめとする、県民の皆様の努力のたまものであり、大変喜ばしいことであると感じています。

県議会においても、これまで「飛鳥・藤原の宮都」に係る文化振興や観光施策をはじめ、多岐にわたる県政の諸課題について、理事者との間で真摯なやりとりが行われてきました。

県民の皆様にとって、何が必要なのか、どのように貢献できるのかとの観点から交わされた、これらの活発で建設的なやりとりは、終始、意義深いものでありました。

これにより、二元代表制の真価が発揮され、広く理解が深まったのではないかと思います。

このような時期に、議長の大任を担うことができましたことを光栄に思います。議員任期も残りわずかではありますが、議長としての経験を活かしながら、県民の皆さまから選ばれた議員として、自身に課せられた責務を自覚し、その役割を果たすことができるよう、一層努力してまいりたいと思います。

今任期中、報道関係者の皆様には大変お世話になりました。

この場をお借りして、お礼申し上げます。ありがとうございました。

(藤野副議長)

お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。田中議長とともに、昨年の6月議会で副議長に選任いただきました。県民の皆様の声をしっかりと県政に届けられるよう、また県議会が機能を発揮できるよう、田中議長のサポートに努めてまいりました。

この1年間を振り返りますと、二元代表制の一翼を担う行政の議決機関として、田中議長をはじめ、議員全員とともに山下知事との間で県政の様々な課題について積極的に議論しました。また山下知事と同じく県民から選ばれた代表者として、県政の発展に向けた車の両輪としての役割を担ってきました。知事との議論の中で、県民の幸せ、福祉の向上のために何をすべきかを考えながら、責任を持って取り組んできました。これらのことを今後の私の議員活動に活かしていきたいと思います。

今任期中、報道関係者の皆様には大変お世話になりました。この場をお借りしてお礼を申し上げます。ありがとうございました。

<質 疑>

Q：任期を振り返って、議論が進んだと感ずることや、印象に残っていることはありますか。

(田中議長)

議会運営や審議を円滑に行うための取組が進んだと感ずています。これまでは委員会審議が長時間にわたり行われるようなことがありましたが、柔軟で円滑な議会運営ができる体制作りが進んだことが印象に残っています。

(藤野副議長)

田中議長のお話にもありましたが、スムーズな議事運営ができたと思います。例えば議会の質問の場面で、専門性の高い答弁を知事に代わり、部局長から行うことができるようになりました。また委員会においては、答弁の予定のない課室長の出席を求めない運用が始まりました。委員会对応以外の業務にも注力できるようになったことは、県政にとっても良い影響があると思います。

(田中議長)

県議会では議会改革を進めています。藤野副議長がお話しになった内容も一連の議会改革の中で取り組んできたテーマです。議会のペーパーレス化等、取り組むべき課題はまだありますが、この1年で議会改革を進めることができたと感ずています。

Q：次に議長、副議長に就任される方にどのようなことを期待したいですか。

(田中議長)

二元代表制の一翼の担う議会としての役割を自覚し、円滑な議会運営に務め、県民のためになる働きをしていただくことを期待します。

Q：議会改革や議会運営のあり方について、次の議長、副議長に託したいことや課題があれば教えてください。

(田中議長)

これまで議会改革を進めてきましたが、まだ実現に至っていない課題があります。議会改革推進会議で取り上げられる課題を着実に解消して議会改革を進めてもらいたいと思います。

(終了)